

確定申告の形式は納税者が決めるもの！

税務署から確定申告のお知らせが納税者に送られてきています。内容はまちまちで、整理番号などが印刷された紙の確定申告書用紙が送られてきた人、納付書だけが封筒で送られてきた人、申告を求めらるハガキだけが送られてきた人もいます。

国税庁・税務署は現在、納税者の情報をより効率的に収集できる電子申告を推進しており、その一環で紙の印刷・郵送を減らす動きを加速しています。過去にパソコンで印刷した申告書を提出した人には申告書用紙を発送しておらず、用紙送付を求める納税者のための申請手続きなども用意していません。

しかし、前期に書き損じて官公庁配布の申告書用紙で確定申告を行った人に用紙が送られてこない、電子申告だが納付書を使って金融機関から振り込んでいたのに今年はハガキしか来ない、二年前に廃業を届け出ているのに納付書が送られてきたなど、基準の一定していない事例が民商に相談されています。

申告・納税をどのように行うかの選択は納税者の権利であり、国税庁・税務署の方針で強要していいことはありません。納税者の事情に配慮し個別の要求に応えることが円滑な申告の実現につながります。今年も尾北民商では、事務所および各申告計算会の会場に所得税



の確定申告書用紙を一定数用意しています。

なお消費税申告は計算と記載事項が複雑なため、事実上パソコンソフト等で作成・印刷することが求められます。インボイス制度が小規模・個人業者にも消費税申告を押し付ける一方で、対応できない人をふるい落として無申告者にしてしまう危険があります。

尾北民商は小牧民商、春日井民商とともに小牧税務署へ2月3日（月）に3・13行動の申し入れを行いました。税務署の收受印廃止の直後だからこそ、今までになかった参加者を集めて行動を起こしましょう。

尾北民商
ニュース

2025年
2月10日号
TEL 0587-54-0524
FAX 0587-54-1390

スマホアプリを使用した電子納税について

2022年12月1日から、スマホアプリ納付で国税を払えるようになりました。納税額が30万円以下ならPay払いで国税を納付できます。

①納税にもアプリのポイントが適用されるのでこれを活用できる人、②申告計算の際に過去の支払い記録の確認や印刷などに対応できる人はスマホアプリ納付も選択肢に入ってきます。

大腸がん検診が郵送で行えます！ 共済会員は受診無料です！

大腸がんの便潜血検査を試してみませんか。民商共済会が一点検診を行っています。自宅で便を採取し郵送するだけなので医療機関へ行く必要はありません。

民商共済会員は無料でこの検査を受けられます。未加入の人は1人1,400円ですが、この機会に共済会に加入した人も無料になります。また、この検診で陽性となり医療機関の勧める再検査を受けた人には、費用を5000円補助しています。

期間 2月1日から3月31日まで

費用 1人1,400円 → **共済会員無料！**

大腸がんは重度になるまで自覚症状が現れにくく自然には見つかりづらい一方で、初期に検査で発見できれば治療で完治が期待できる病気です。

民商共済会には配偶者・従業員・同居家族も入れます。共済会費は一人月1,000円です。

3月22日に婦人部主催で乳がん検診を2年ぶりに行います！

尾北民商婦人部主催、民商共済会の協賛で、婦人科検診を行います。受診費用は未加入者4,000円、婦人部・共済どちらかの加入で2,000円、両方加入なら1,000円です。

現在の統計では、生涯で女性の9人に1人が乳がんになるとされ、早期の発見・治療が重要になっています。



諸説ありますが、一般に30代までは超音波エコー検査、40代からはX線撮影の一種のマンモグラフィ検査が向いているとされています。

*当日の検査は女性の技師が担当します。

*検査結果は後日に直接本人のもとに郵送されるので、民商には個人の診断情報はわかりません。

*検査時間は一人15分程度を想定しています。